



とかりがね

東根市立長瀬小学校

令和5年11月1日発行

一粒の「たね」は「あした」へと繋がる輪

今年も残り2か月、振り返ってみて今年の一曲・自分にとって一番の「勇気」をもらった曲といえば、あいみよんが歌う「愛の歌」です。朝ドラ「らんまん」を楽しみにしていた皆さんも多かったのではないのでしょうか。歌詞は以下のとおりです。

愛の歌	あいみよん		
言葉足らずの愛を	愛を貴方へ	私は決して今を	今を憎んではない
歪んだ雲が空を	空を濁して	私の夢は全て	全て置いてきたの
命ある日々	静かに誰かを愛した日々		
空が晴れたら	愛を愛を伝えて	(会いに会いに来て欲しい)	
涙は明日の為	新しい花の種	(涙は枯れないわ明日へと繋がる輪)	

とっても素敵な歌詞です。あしたや未来に向かって未来志向の歌詞で、私たちに「あした」に向かって「いっぽ」「いって」を踏み出したりする勇気を与えてくれます。特に、最後の「たね」に、子供たちの思いや考えを広げさせていきたいと考えました。

そこで、クイズを出しました。

《クイズ①》 「かしこくて おしゃれで ふしぎな ちいさないのち」って何だ？—

《クイズ②》 これは何の「たね」でしょう？

どれも、今年、それぞれの学年の児童が、栽培活動などで半年お世話をしてきたものの「たね」を見せました。

① アサガオ ② オクラ ③ 綿(わた) ④ 紅花 ⑤ 米 ⑥ 豆

春に、苗から植えて、夏や秋に実を収穫して終わりというところで、種にまで気づく子どもは多くはありませんでした。

次に、その「たね」について、学校の図書室で面白い本をみつけたので、その中で、紹介されているたねのキャッチコピーを四つ厳選して紹介しました。

(※「たねのはなし」 ダイアナ・アストン 文 シルビア・ロング 絵 ほるぷ出版)

① たねはたびびと

— ゆったりと根を張れる場所をもとめて、とびたっていく。パラシュートみたいな細くしなやかな綿毛のおかげで、たんぽぽの種は何百キロも離れたところまでとんでいく。

② たねはくふうする

— さやからはじけとぶ、服や靴ひもにくっつく、動物のお腹にしがみつく。

③ たねはいたれりつくせり

— 自力で寒さから守る種皮に覆われ、栄養もたくわえている。たねはのどもかわくしおなかもすく。種皮を脱ぎ捨てたたねは、雨や露、昨日はつららだった水まですいあげる。土の栄養も。

④ たねはかしこい

— 光合成という方法をつかって、自分で栄養をつくりだす。日光を利用して、二酸化炭素と水から成長に必要な栄養をつくる。小さな「一個のたね」から、それがそれが様々な試練を経験しながら成長して 何十倍・何百倍の数の新しい「たね」に変身する。

一人一人の子ども達も様々な未来ある「たね」。知恵も工夫も、そして生かし方も考えていただけではだめ。「いっぽ」「いって」を勇気をもってまずは踏み出してみよう。ちょっとした頑張りを「いつも」続けて、「いいね」の積み上げを目標に、日々地道に頑張っていきましょう。

(文責:校長 沼澤 徹)



学校 NOW!



PART * 1

創立150周年記念 秋季大運動会



よーい!スタート!!



150秒で150個のまり入れ 見事成功!



6年「親子対決リレー」
大いに盛り上げてくれました



アイデアあふれる力強い応援! グランドじゅうに響きました



6年生思い出の修学旅行 (日光方面)



3年消防署見学

1日目は、日光を満喫しました。

豪華な食事に笑みがこぼれます...



創立記念事業として、設置していただいた「ボルダリング」。休み時間の楽しみの一つになっています。

学校NOW!

PART 2

ながとろの「ひと・もの・こと・とき」にふれる

長瀬大好きプロジェクト進行中!
We love Nagatoro!



紅花染めにチャレンジ

おいしい楽しいいもに会!!



収穫の秋 いもほり!



春に植えた里いもを使って、いもに会を行いました。今年は猛暑で生育が心配されましたが、無事行うことができました。最初につながり班で楽しく遊んだ後は、お待ちかねの会食タイム。柔らかくておいしいいもにを友達と一緒に食べるのができました。秋晴れのもと、心も体も満たされて、大満足の時間になりました。

春に種をまき、夏に150本の花が咲いた紅花。それを紅餅にした4年生。最後は谷地の「鈴正」さんを講師に招き、紅花染め体験です。染色液の匂いや感触、味など五感のすべてを使っての活動です。絞りの具合や色の種類、浸す時間などの違いから世界でたった一つのオリジナルハンカチが出来上がりました。きれいに染め上がった色や模様を見て笑顔が広がりました。

1年生が育てたさつまいもの収穫を行いました。長く伸びたつるを取って、一生懸命に土を掘りました。すると、大きいさつまいもが出てきます!「すごーい!」「大きいね!」にこにこ顔でどんどん掘っていきました。植えた時の小さな苗がこんなに大きく成長してみんなびっくりです。これから、おいしい楽しいさつまいもクッキングが待っています。

*** 想画特集 *** 残そう! 昭和の記憶! 守り伝えよう! 長瀬の宝!

画文集『昭和の記憶』を中心に、想画の記憶をたどります。6年生が心に留めた作品の感想をお届けします。



「落ち穂ひろい」 伊藤武雄 高2 (40)

題名「落ち穂ひろい」
稲がとても細かくていねいに描かれています。背景に、いなくいに稲を積み重ねているところがたくさん描かれていて、みんなで協力して行ったんだなと思いました。そして、田んぼに落ちている落ち穂を拾っている姿が心に残りました。5年生の時の米作り体験を思い出しました。
6年 川合眞瑠



「いねかり時」 鈴木彦太郎 高1 (90)

題名「いねかり時」
稲刈りをしている様子を描いている想画です。かかしや稲を持ち上げている人を細かく丁寧に再現されたような絵で心に残りました。また、かかしの服がリアルでびっくりしました。そして、みんなが協力して手作業で米作りをしている様子が伝わってきて、温かい気持ちになりました。
6年 笠井 祈

*** 想画まめ知識 ***

◇温かい想画(2)
～自分が見つけたことを絵にする楽しさを知る～

<中学年>

- ①自由に描かせ、構想や絵の題材についてはけなさない。
- ②直してほしいことがある時は、その子に寄り添い、場面を話したり綴らせたりする。
- ③互いの作品について話し合い、描くことに興味をもたせる。
- ④このころから毛筆描き、描線、色彩、明暗を知らせ、絵を描く楽しさを見つけさせていく。
- ⑤さらなる美術講話、自然鑑賞、作品の鑑賞を重ねつつ、描く楽しさを味わわせ、何かを見つけさせ、何を描くのか考えさせる。